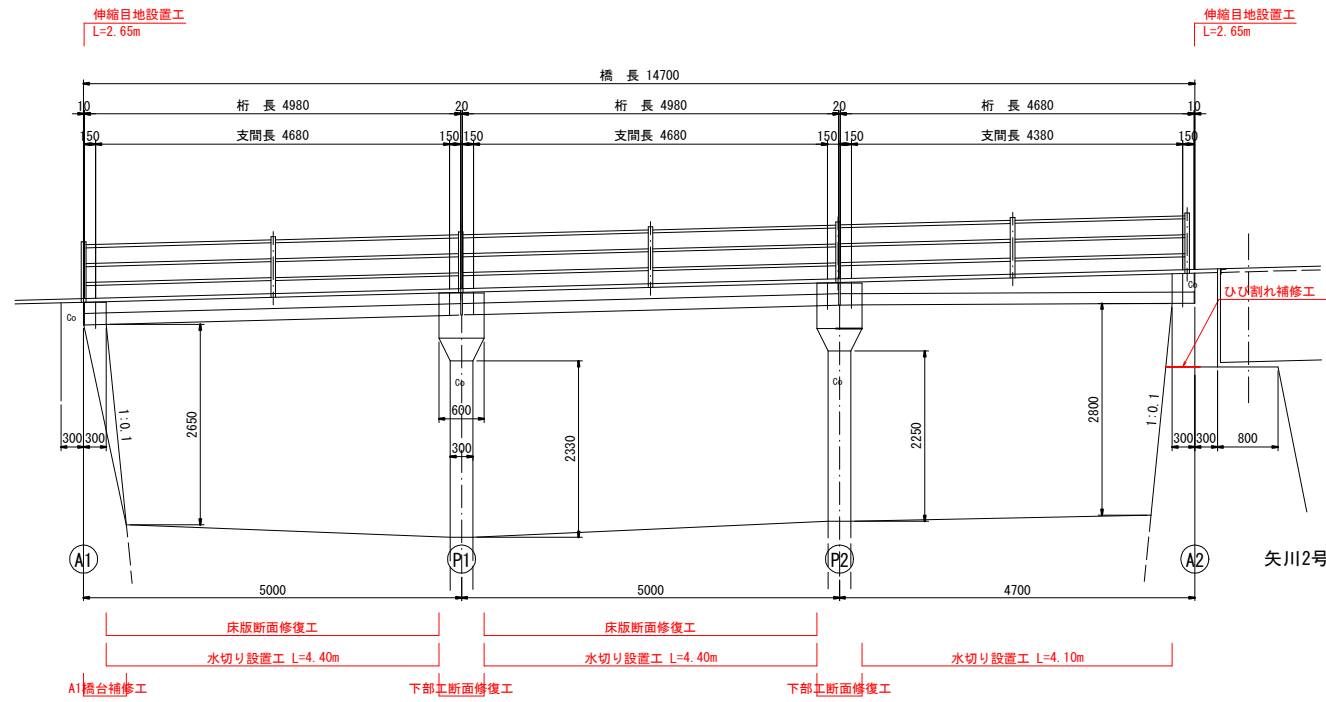


矢川1号橋 修繕工一般図

側面図

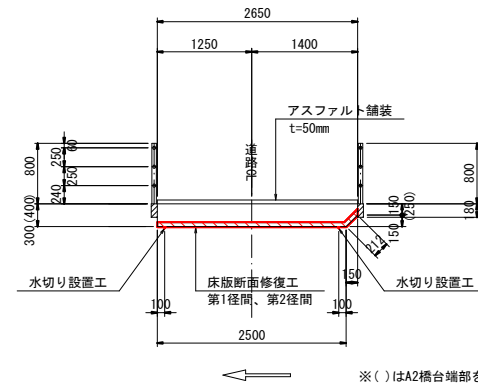
S=1:50

上流側



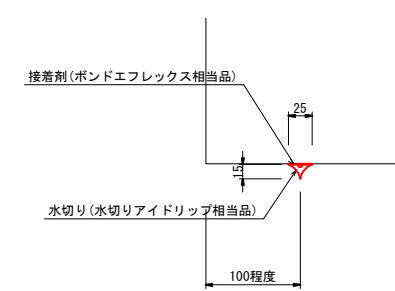
断面図

S=1:50



水切り設置工

上・下流側 S=1:4



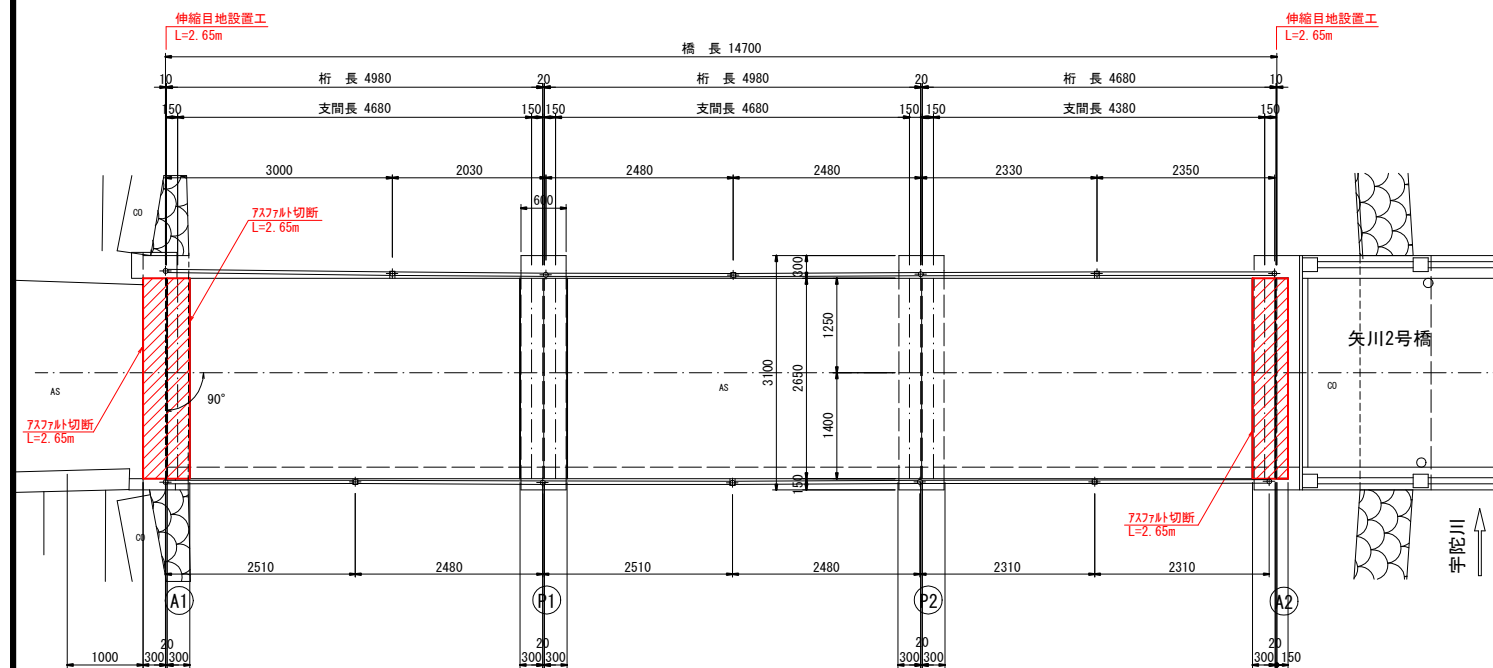
設計条件

設計条件	
橋格	- (9t)
上部工形式	3径間単純RC床版桁
橋長	14.700m
桁長	4.980m+4.980m+4.680m
支間長	4.680m+4.680m+4.380m
全幅員	2.650m
有効幅員	2.650m
斜角	$\theta=90^\circ$
床版	鉄筋コンクリート床版
舗装	アスファルト舗装
支承	-
橋台	重力式
橋脚	門型ラーメン式
基礎	直接基礎

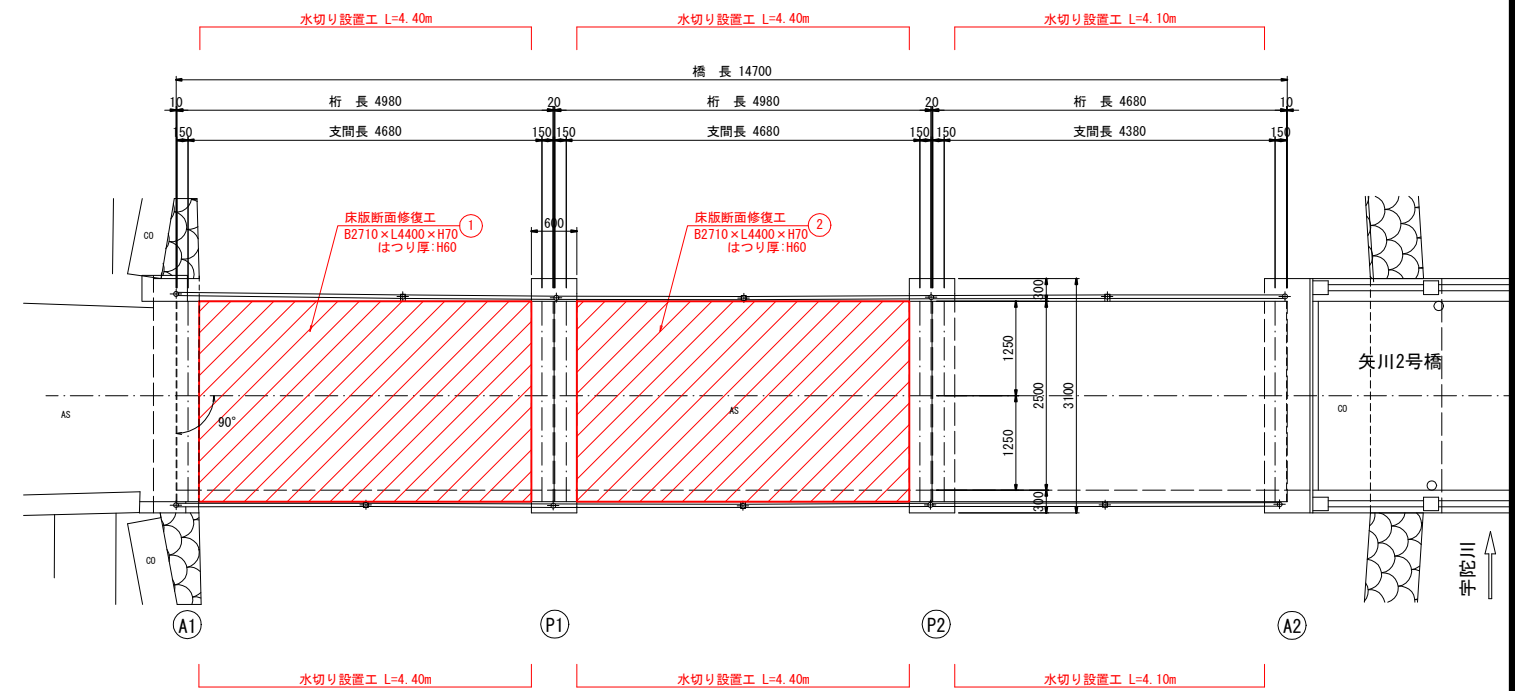
平面図

S=1:50

上面



下面



※断面修復において、はつり厚の記載のないものについては断面修復工の厚さと同じとする。

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

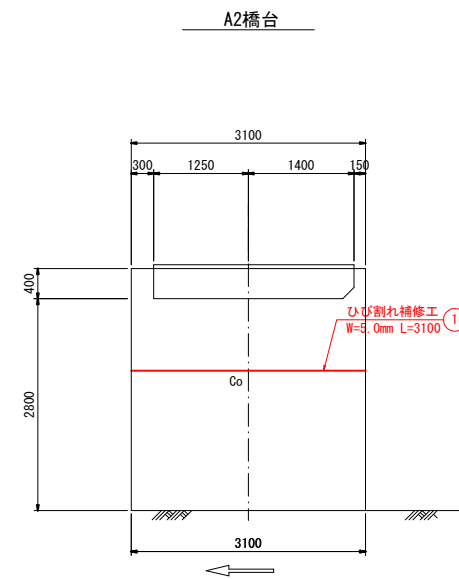
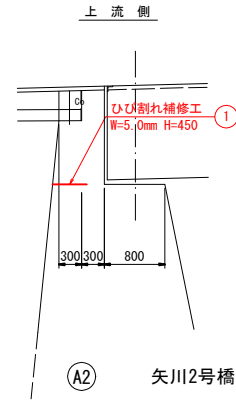
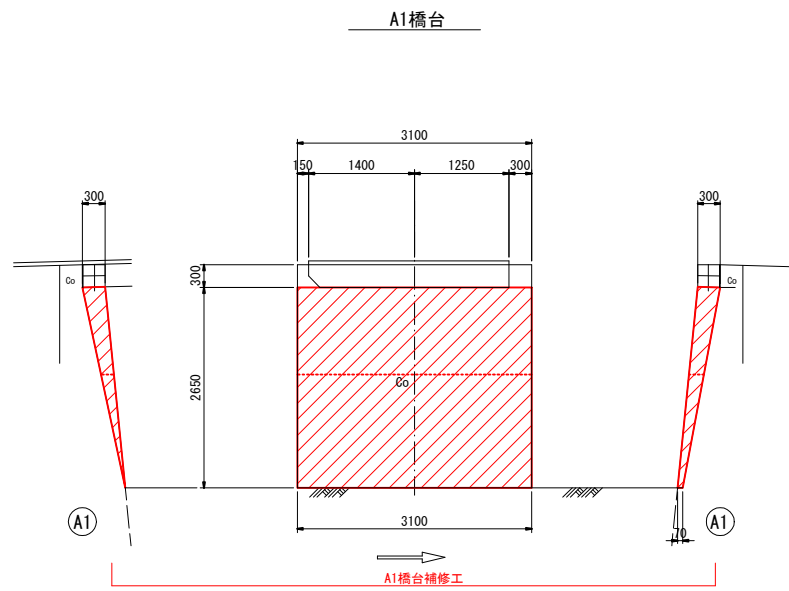
(矢川1号橋)

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか)橋梁補修工事		
図面名	修繕工一般図		
尺度	図示	図面番号	5 業之内 1
事務所名	名張市		

修繕工詳細図(1)

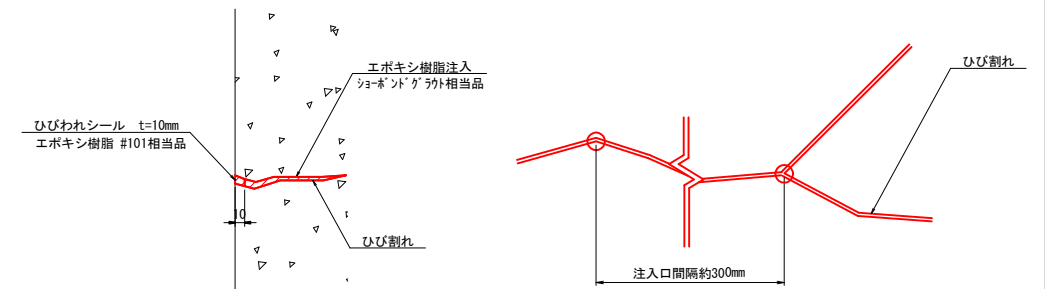
正面図

S=1:50



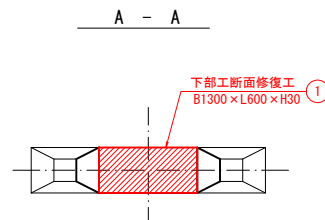
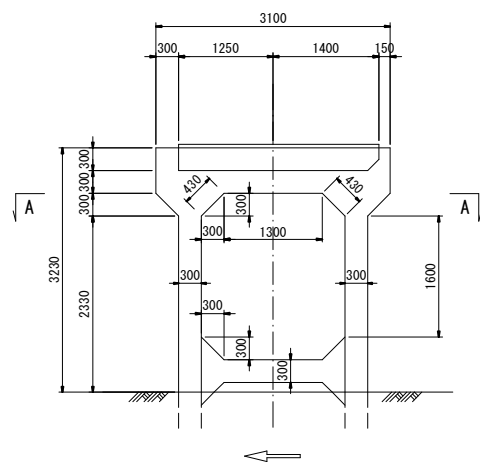
ひび割れ補修工詳細図

(ひび割れ注入工) 参考図

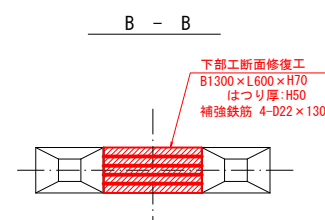
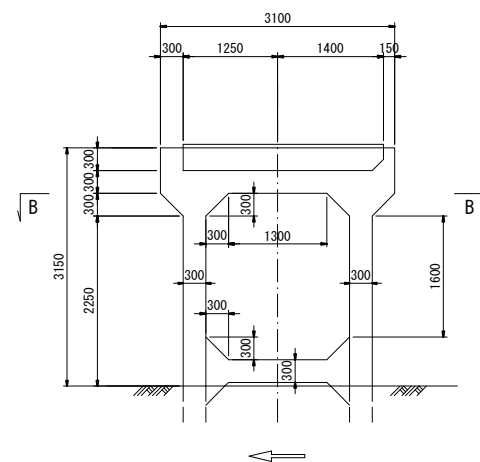


※ ひび割れの補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 注入に際しては必ず監督員の立ち合いを求めること。
 予定数量を大きくオーバーする場合には、監督員と協議の上注入を中止すること。

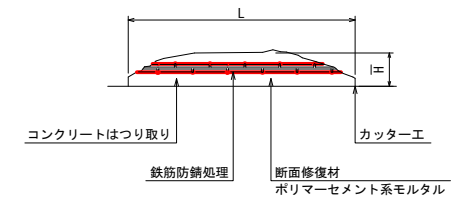
P1橋脚 (A1側)



P2橋脚 (P1側)



断面修復工詳細図



※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
 ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 なお、断面修復部の最小かぶり(純かぶり)は30mmを確保すること。
 ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー同等以上で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。
 ※ 本工事は乾式吹付工法を基本とするが、必要に応じて左官工法を併用すること。

(矢川1号橋)

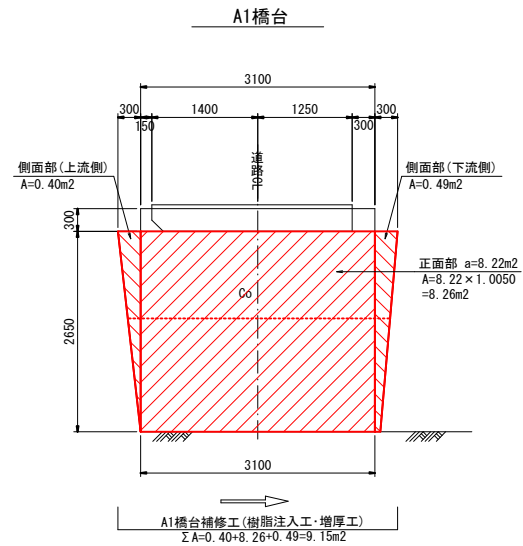
工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(1)		
尺度	図示	図面番号	5 業之内 2
事務所名	名 張 市		

修繕工詳細図(2)

A1橋台補修工

詳細図

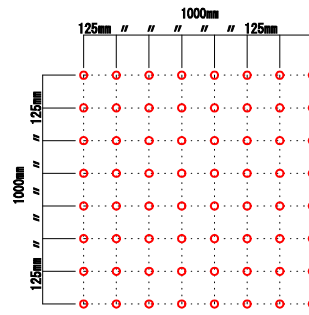
S=1:50



※ 顕著なひび割れにも注入も行うこと。

参考図

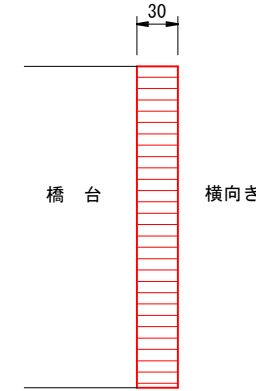
(注人間隔平面図)
(面注入)



注入ポイントは、標準 1m²あたり 8×8=64箇所とする。
現場の状況によってポイントのピッチは変えるものとする。
1箇所当たりの注入回数は3本を標準とする。

増厚工詳細図

(乾式吹付工法)



※ 増厚工は樹脂漏れ防止のために行うものであり樹脂注入に先立ち行うこと。

樹脂注入施工手順図 (IPH工法相当品)

1. 下地サンディング・マーキング

VDR「イテンド」吸塵システムによりクラック表面を研磨し、クラックの状況を確認する。
本工事では顕著なひび割れがあるため、増厚工の施工前に位置を確認し、
注入ポイントをマーキングする際にはこのひび割れ位置にもマーキング
を行うものとする。増厚後に注入ポイントをマーキングする。

2. 穿孔・台座取付・樹脂漏れ防止

IPHシステムで注入ポイントを穿孔する(面注入：64ヶ所/m²)。
JP台座をビツァツァシステムにて固定する。
※速硬性を要する場合は、クイックセグを使用する。

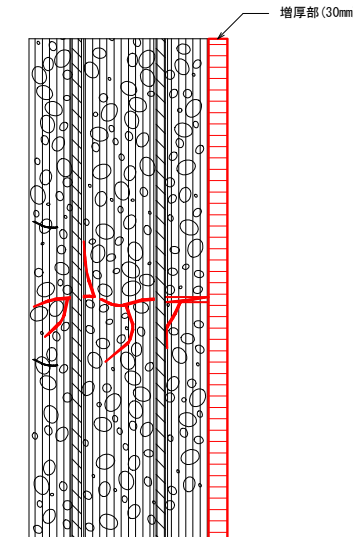
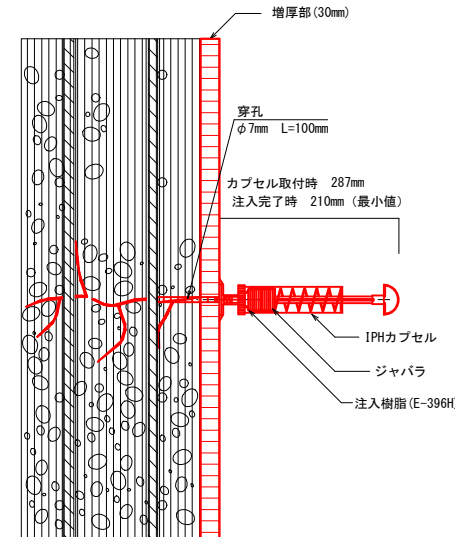
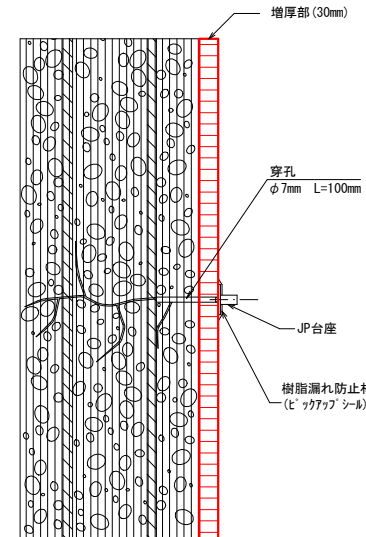
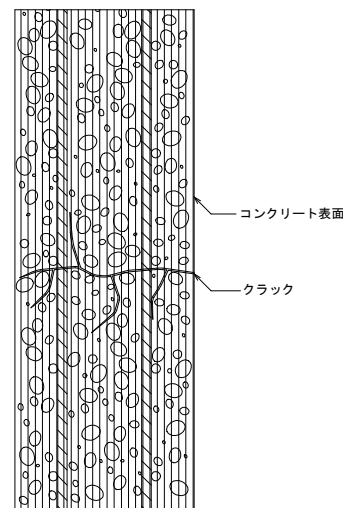
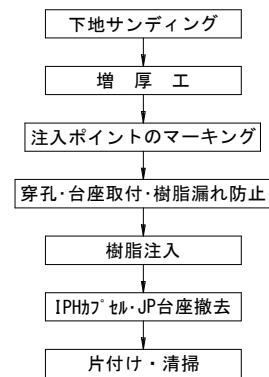
3. 樹脂注入

JP台座にIPHカプセルを取り、E-396H樹脂(E-396H)を注入する。
ジャバラ1本分の樹脂で不足する場合は、2本目に取替える。
その後、注入材硬化まで加圧養生する。
※速硬性を要する場合は、7708樹脂(A-396MSC)を使用する。

4. IPHカプセル・JP台座撤去、清掃

IPHカプセルとJP台座、漏れ止め材を撤去する。
VDR「イテンド」吸塵システムで平滑にし、清掃を行い完了とする。

A1橋台補修工の施工手順



注記 1)：樹脂注入の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
注入に際しては必ず監督員の立ち合いを求めること。
予定数量を大きくオーバーする場合には、監督員と協議の上作業の続行・中断を決定すること。
2)：樹脂注入工法においては、施工後に強度の改善を確認すること。

(矢川1号橋)

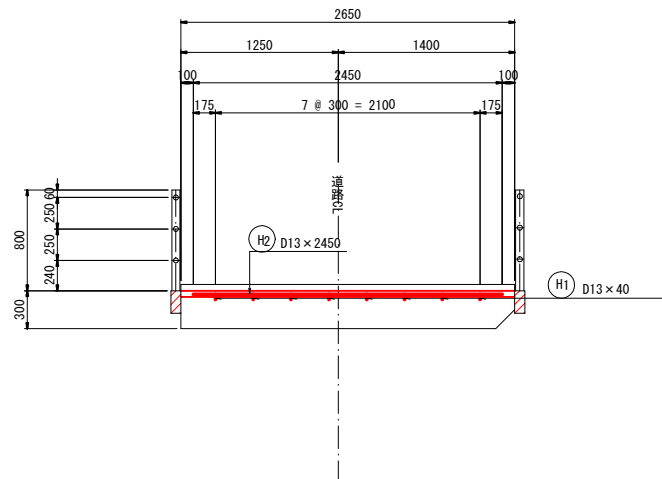
工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか)橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(2)		
尺度	図示	図面番号	5 業之内 3
事務所名	名張市		

修繕工詳細図(3)

伸縮目地設置工

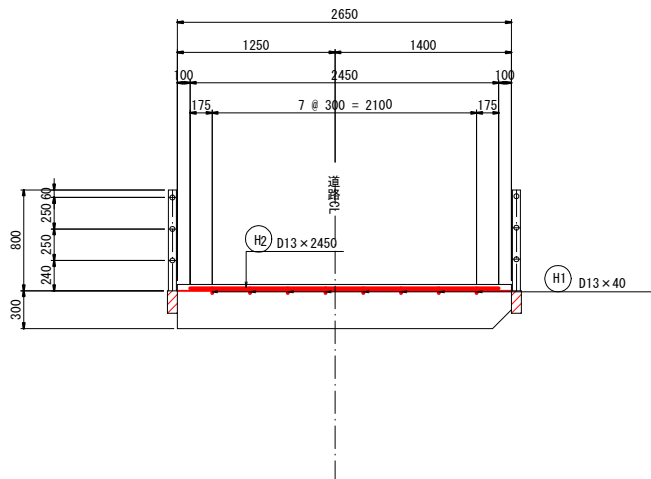
A1橋台断面図

S=1:30



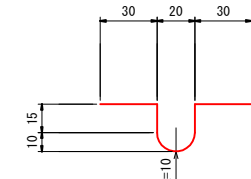
A2橋台断面図

S=1:30



伸縮目地詳細図

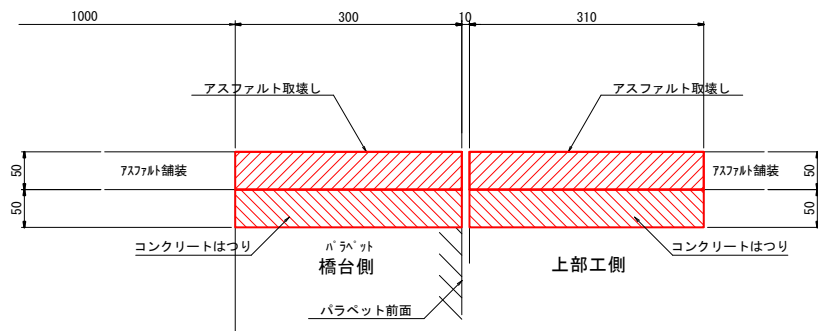
S=1:2



A1橋台 PL 121.4 × 0.8 × 2650 (SUS)
 P1橋脚 PL 121.4 × 0.8 × 2650 (SUS)
 P2橋脚 PL 121.4 × 0.8 × 2650 (SUS)
 A2橋台 PL 121.4 × 0.8 × 2650 (SUS)

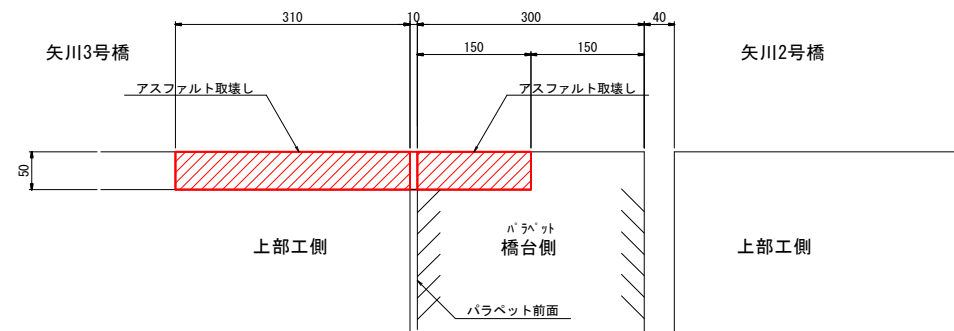
A1橋台撤去工

S=1:5



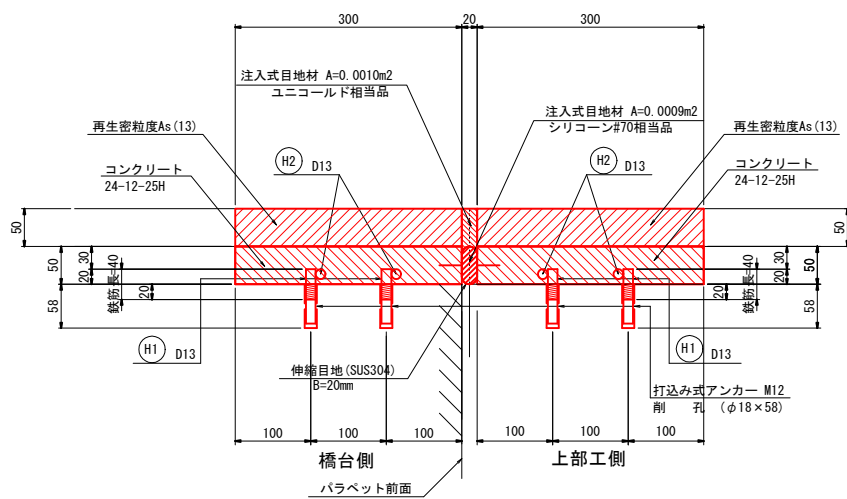
A2橋台撤去工

S=1:5



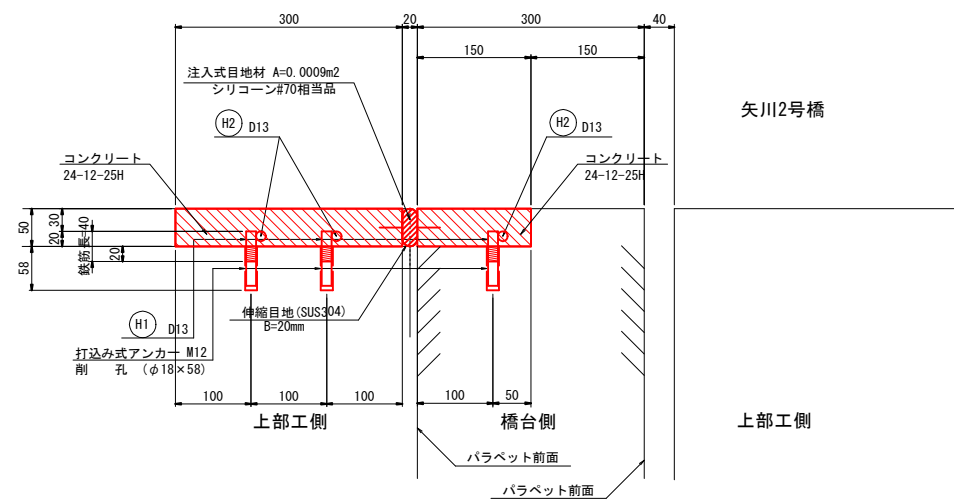
A1橋台設置工

S=1:5



A2橋台設置工

S=1:5



(矢川1号橋)

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(3)		
尺度	図面番号	5	葉之内 4
事務所名	名張市		

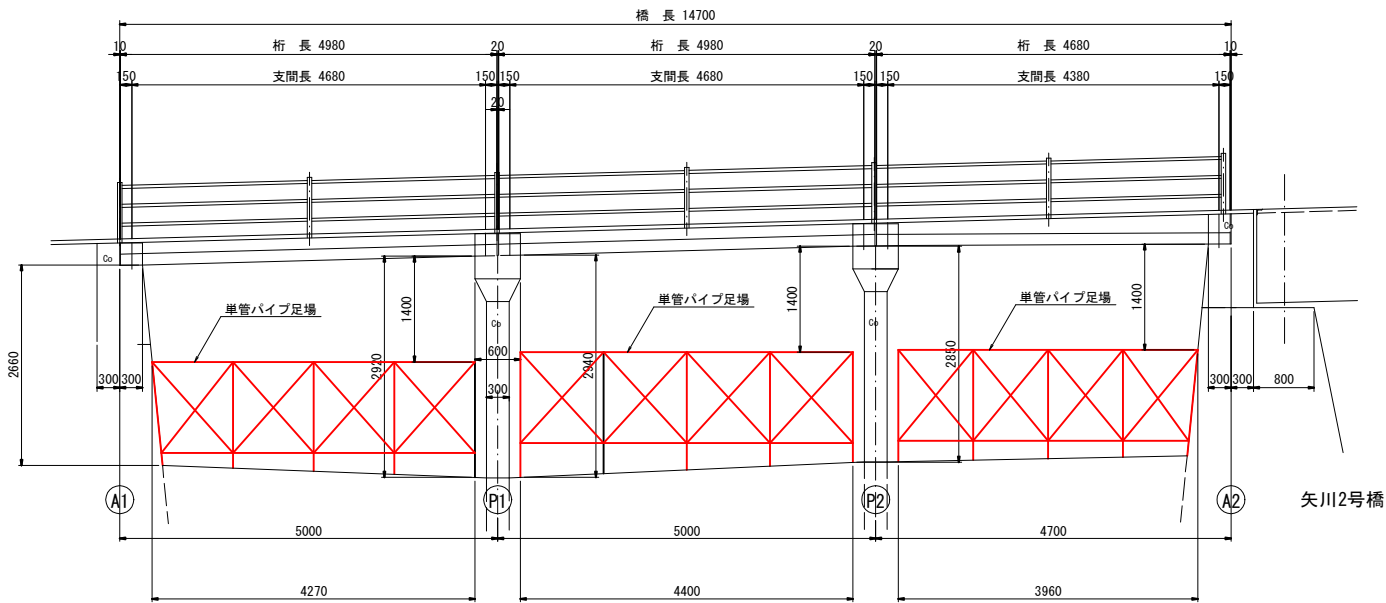
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

仮設足場工 参考図

側面図

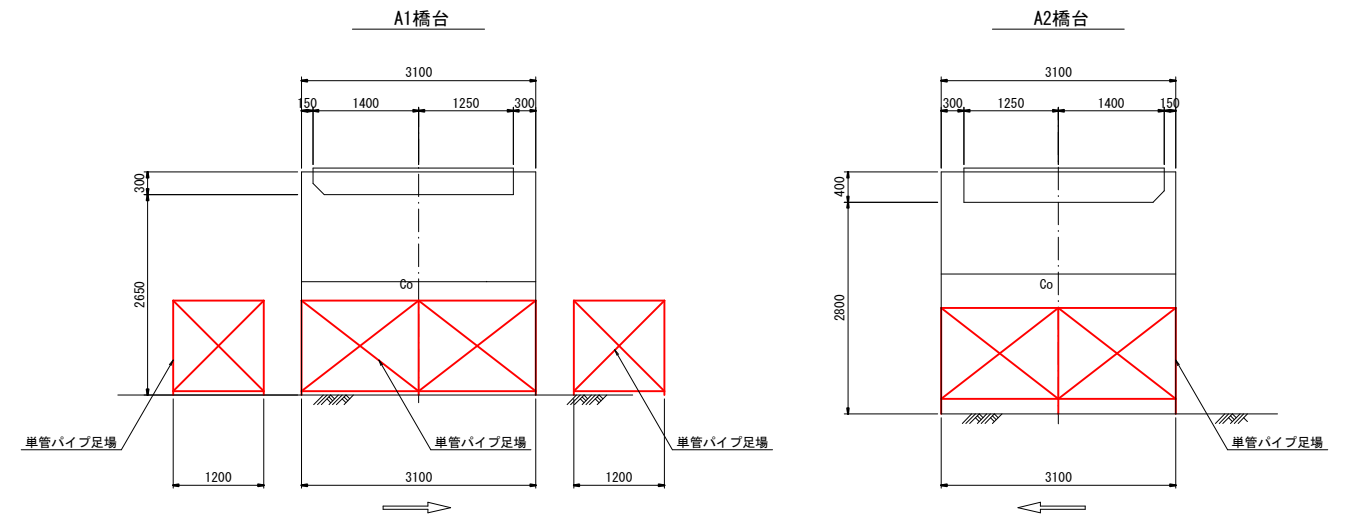
S=1:50

側面図



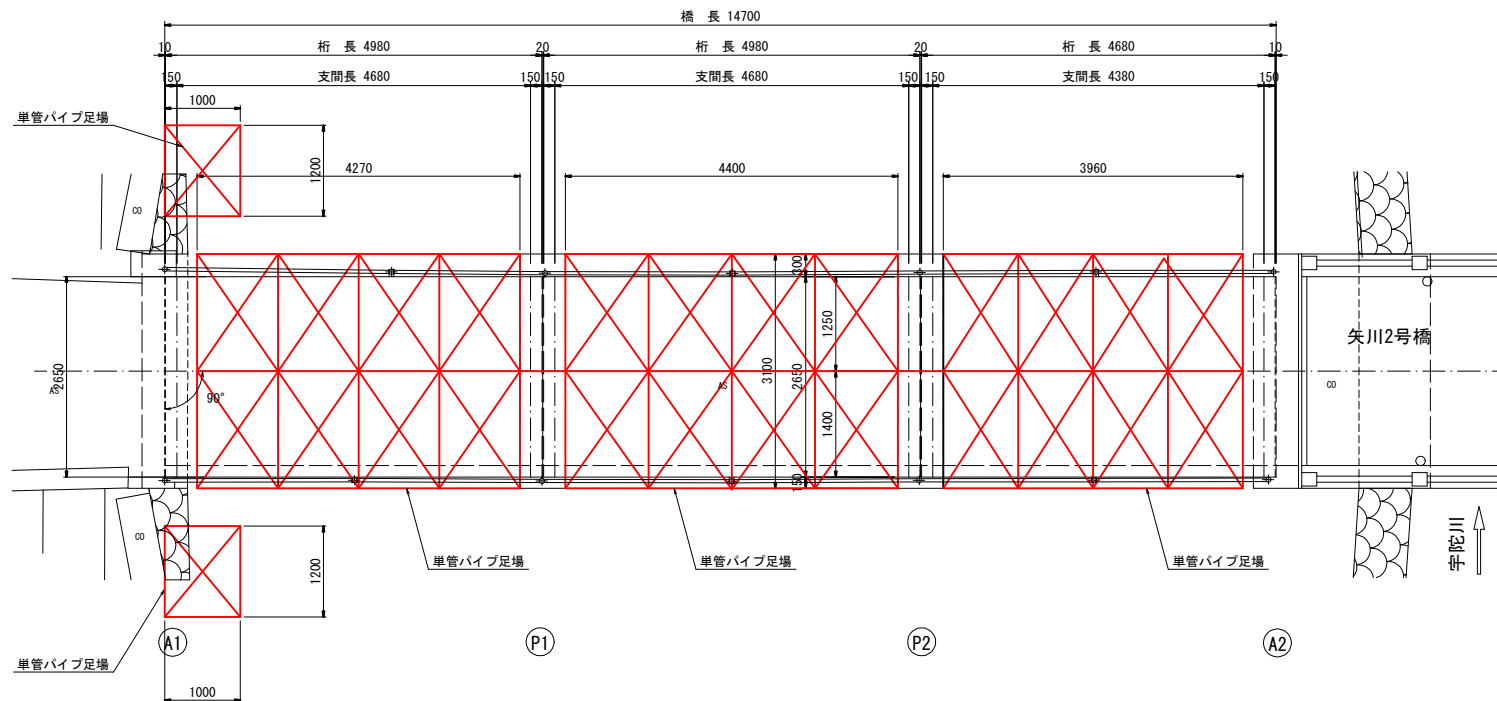
正面図

S=1:50

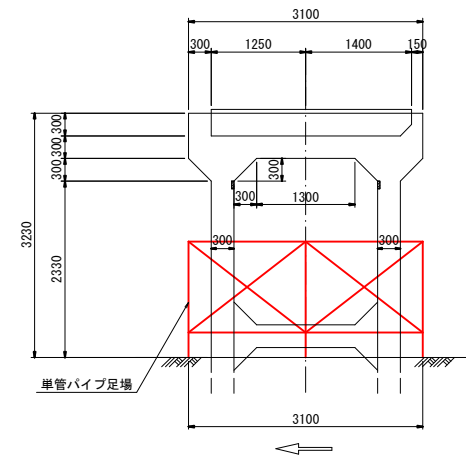


平面図

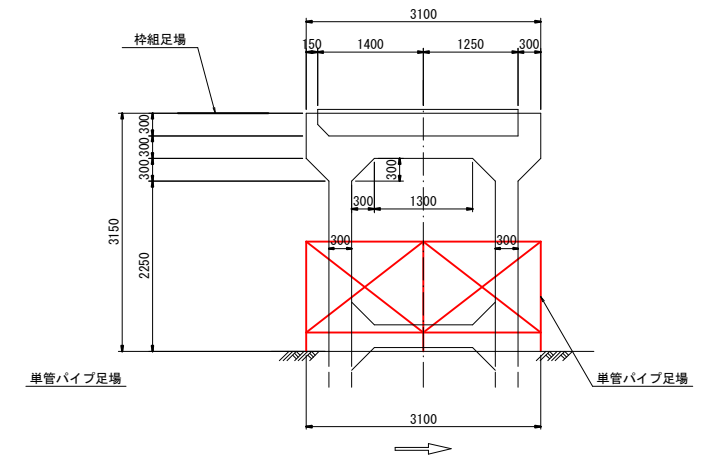
S=1:50



P1橋脚 (A1側)



P2橋脚 (A2側)

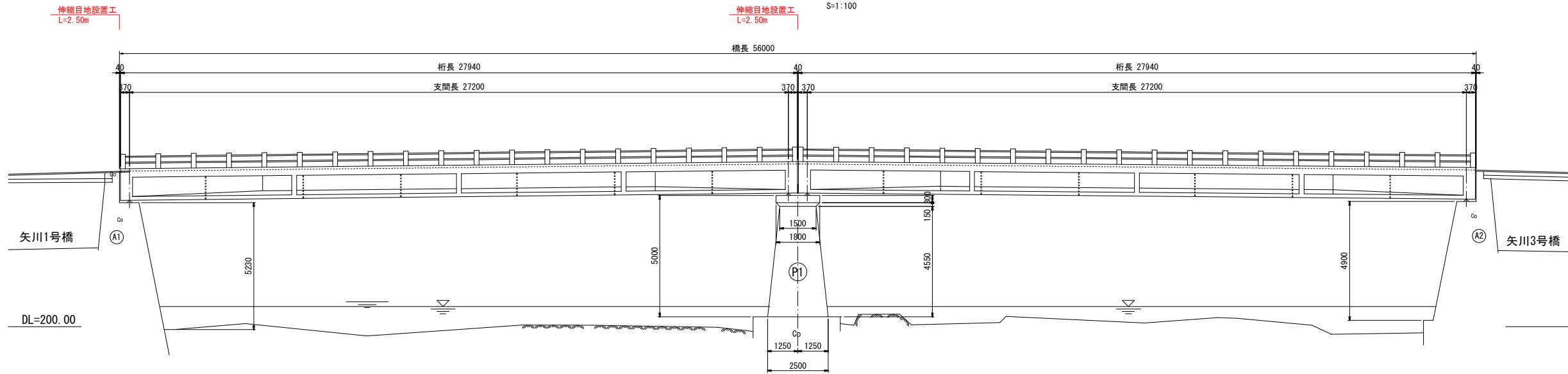


(矢川1号橋)

工事名	市道矢川1号線(矢川1号橋ほか)橋梁補修工事			
図面名	仮設足場工 参考図			
尺度	図示	図面番号	5	葉之内 5
事務所名	名張市			

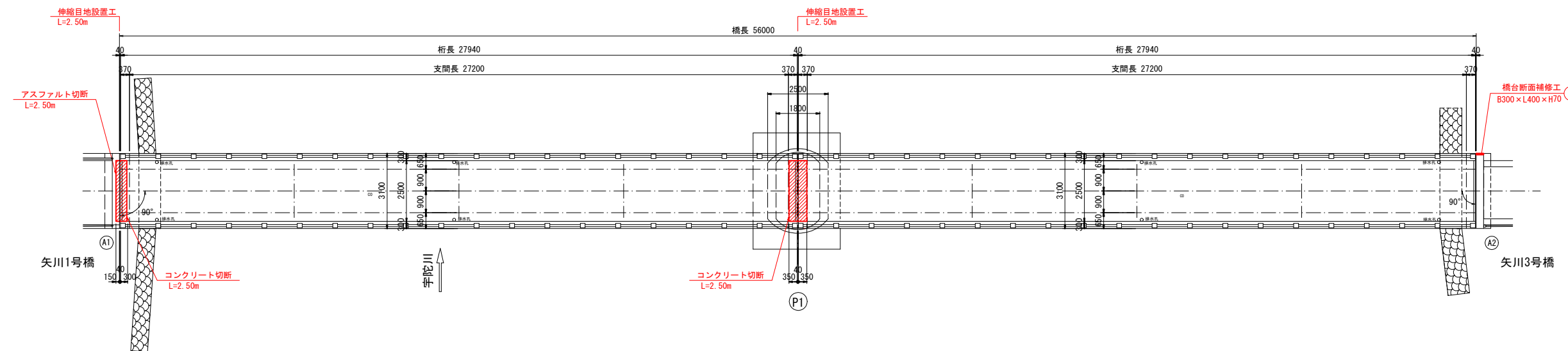
矢川2号橋 修繕工一般図

側面図



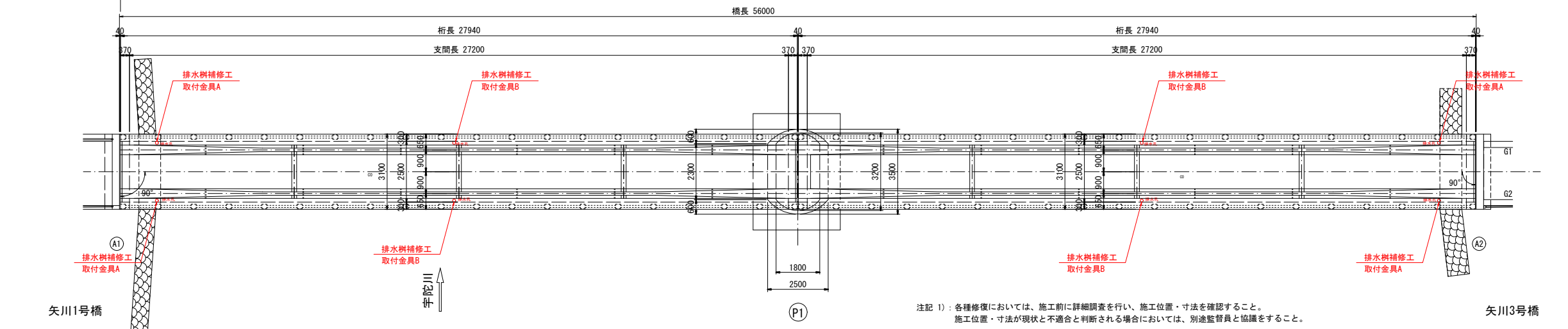
平面図

上面 S=1:100



平面図

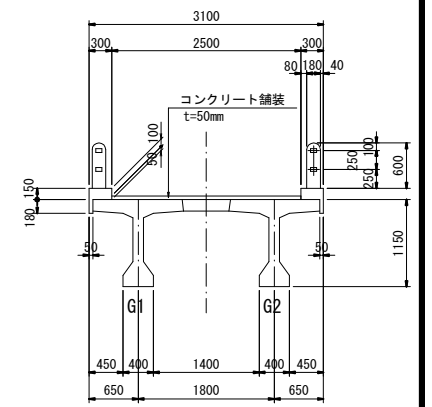
下面 S=1:100



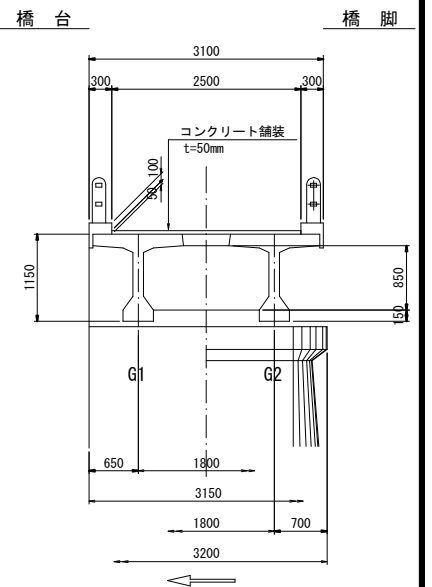
断面図

S=1:50

一般部



端・中間横桁部



設計条件

橋格	- (9t)
上部工形式	2径間単純PCT桁(ブロック桁)
橋長	56.000m
桁長	27.940m+27.940m
支間長	27.200m+27.200m
全幅員	3.100m
有効幅員	2.500m
斜角	$\theta=90^\circ$
床版	-
舗装	コンクリート舗装
支承	線支承
橋台	重力式
橋脚	逆T小判形
基礎	直接基礎

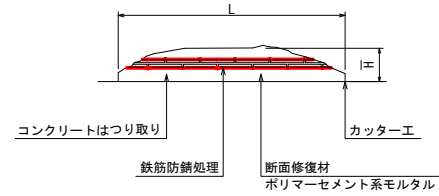
(矢川2号橋)

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	修繕工一般図		
尺度	図示	図面番号	4 業之内 1
事務所名	名張市		

注記 1) 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

修繕工詳細図(1)

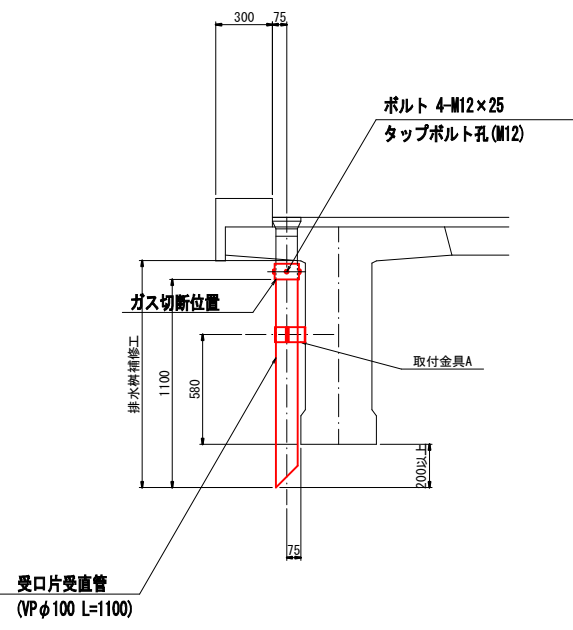
断面修復工詳細図



※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
 ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
 なお、断面修復部の最小かぶり(純かぶり)は30mmを確保すること。
 ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー同等以上で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

断面図

S=1:20

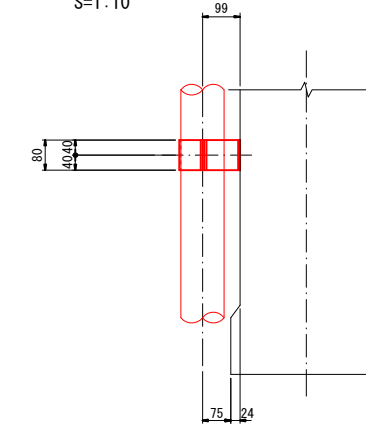


排水樹補修工

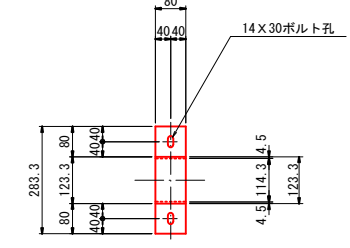
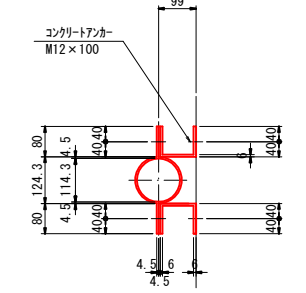
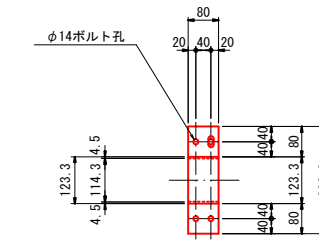
取付金具A

取付金具詳細図

S=1:10



2-PL 80 X 4.5 X 347 (SS400)
 2-PL 80 X 6 X 243 (SS400)
 4-BN M12 X 40 (SS400 亜鉛メッキ仕様)
 2-コンクリートアンカー M12 X 100 (SS400 亜鉛メッキ仕様)
 注) 取付金具は、溶融亜鉛メッキを施すものとする。
 付着量は、JIS H8641 HDZT63とする。
 ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

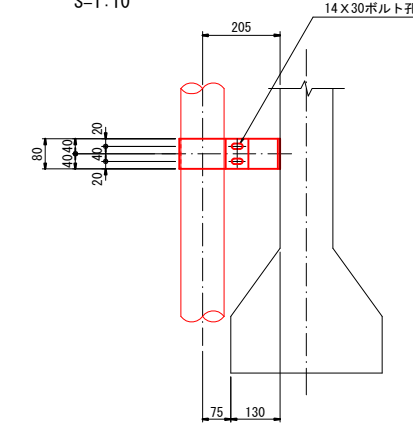


排水樹補修工

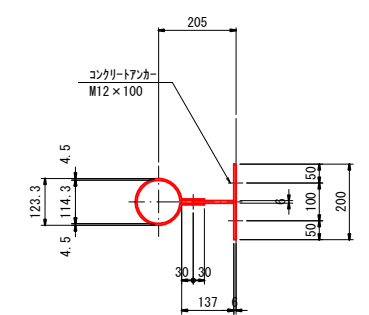
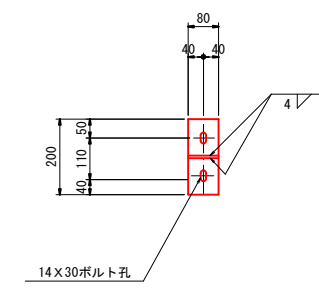
取付金具B

取付金具詳細図

S=1:10

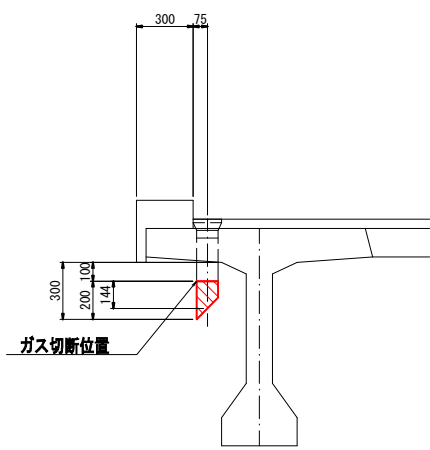


1-PL 80 X 4.5 X 488 (SS400)
 1-PL 80 X 6 X 137 (SS400)
 1-PL 80 X 6 X 200 (SS400)
 2-BN M12 X 40 (SS400 亜鉛メッキ仕様)
 2-コンクリートアンカー M12 X 100 (SS400 亜鉛メッキ仕様)
 注) 取付金具は、溶融亜鉛メッキを施すものとする。
 付着量は、JIS H8641 HDZT63とする。
 ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。



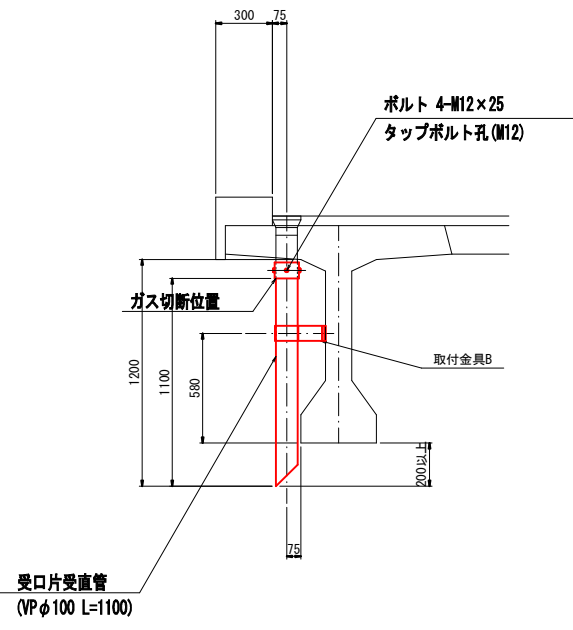
既設排水管撤去詳細図

S=1:20



断面図

S=1:20



(矢川2号橋)

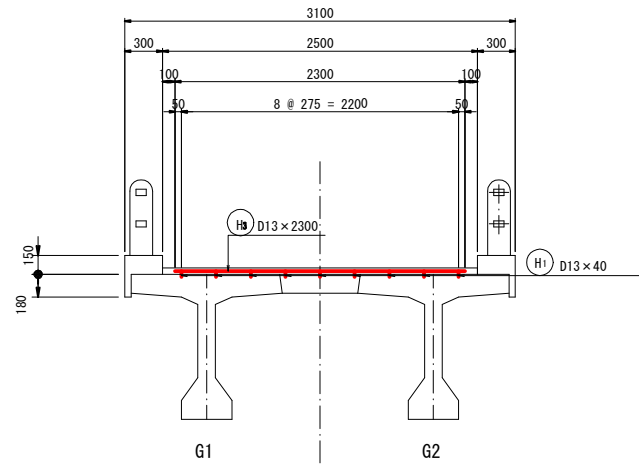
工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか)橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(1)		
尺度	図示	図面番号	4 業之内 2
事務所名	名張市		

修繕工詳細図(2)

伸縮目地設置工

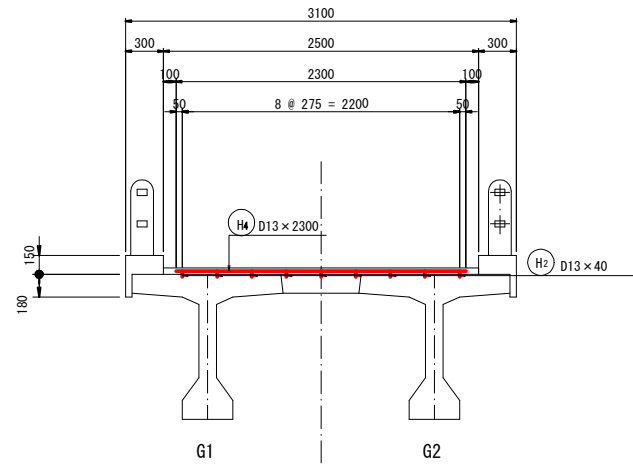
橋台部断面図

S=1:30



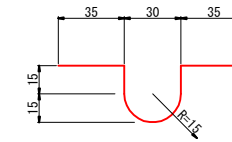
橋脚部断面図

S=1:30



伸縮目地詳細図

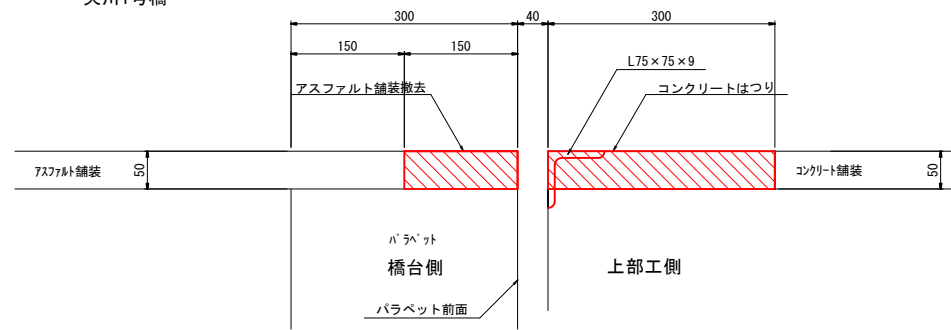
S=1:2



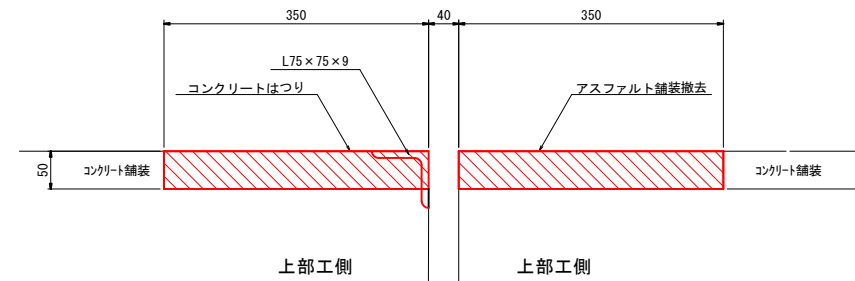
PL 147.1 x 0.8 x 2500 (SUS)

矢川1号橋

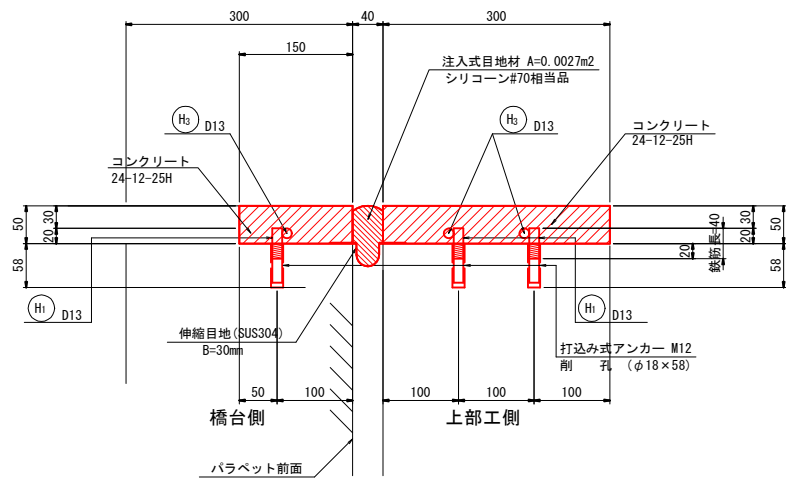
A1橋台撤去工
S=1:5



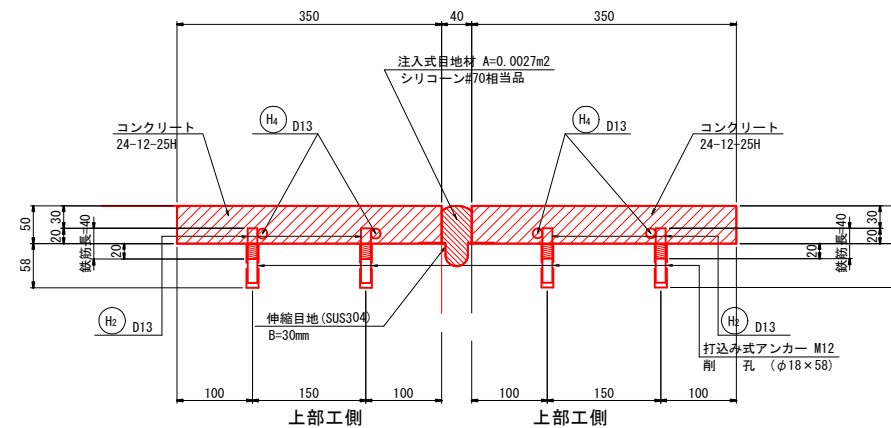
P1橋脚撤去工
S=1:5



A1橋台設置工
S=1:5



P1橋脚設置工
S=1:5



(矢川2号橋)

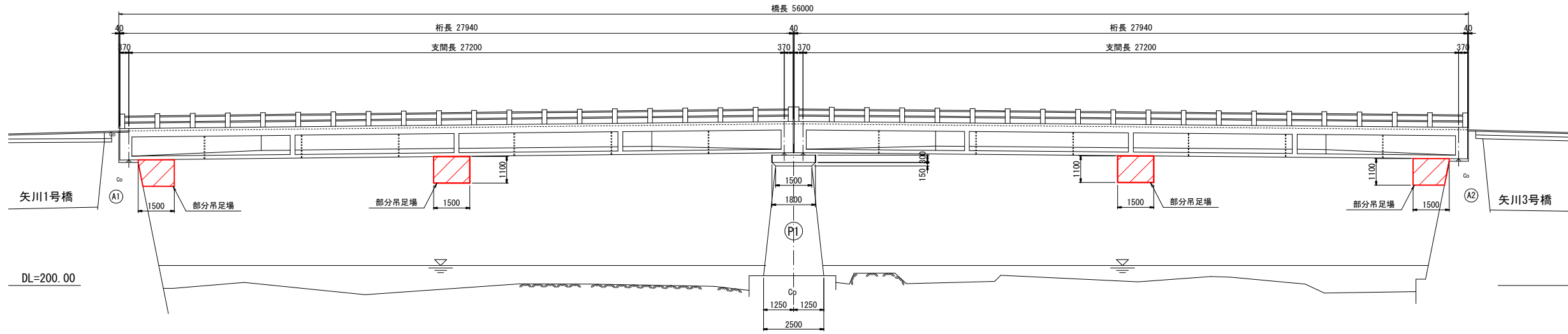
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(2)		
尺度	図示	図面番号	4 業之内 3
事務所名	名張市		

仮設足場工 参考図

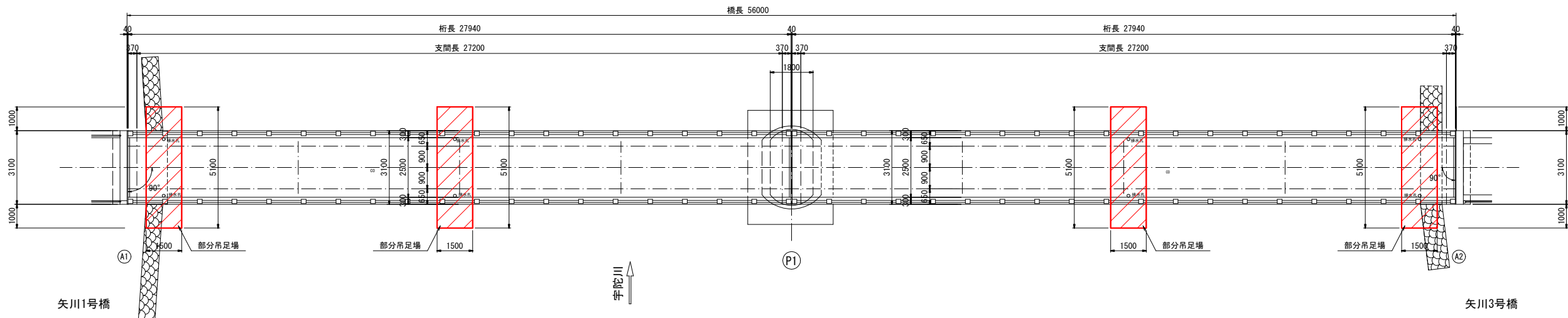
側面図

S=1:100



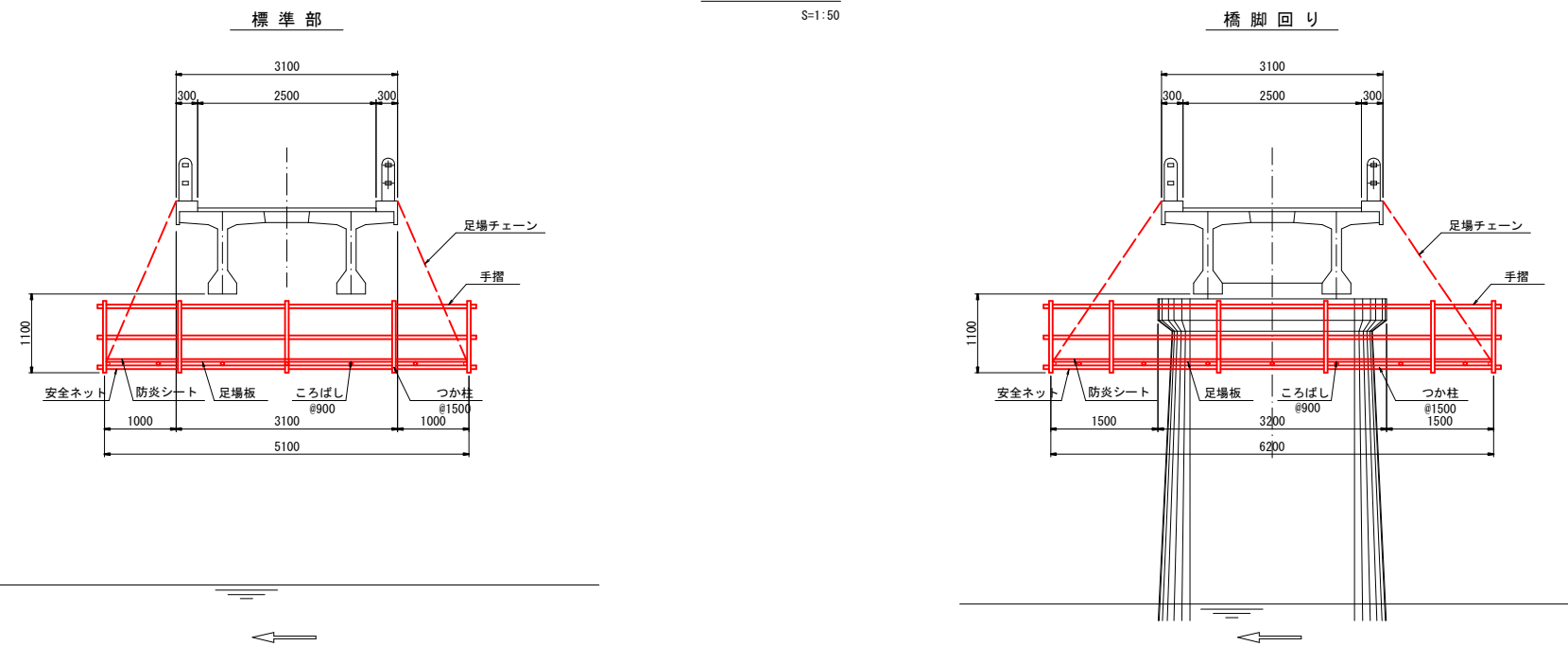
平面図

S=1:100



断面図

S=1:50



(矢川2号橋)

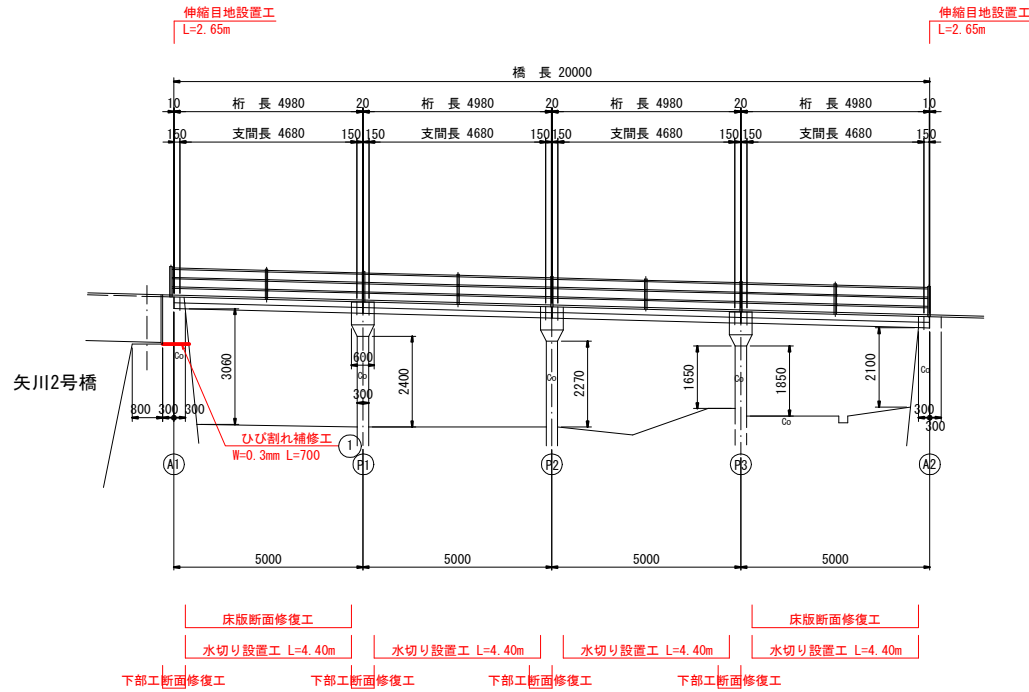
工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
尺度	図示	図面番号	4 業之内 4
事務所名	名張市		

矢川3号橋 修繕工一般図

側面図

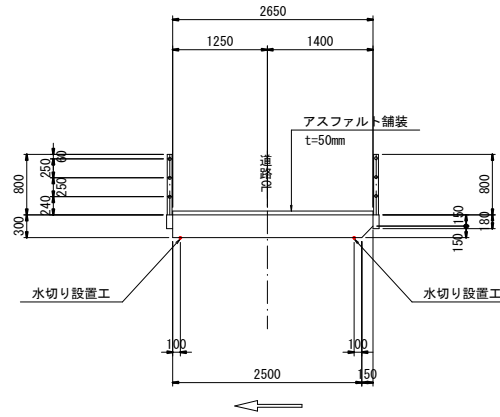
S=1:100

上流側



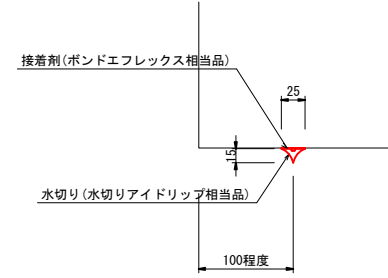
断面図

S=1:50



水切り設置工

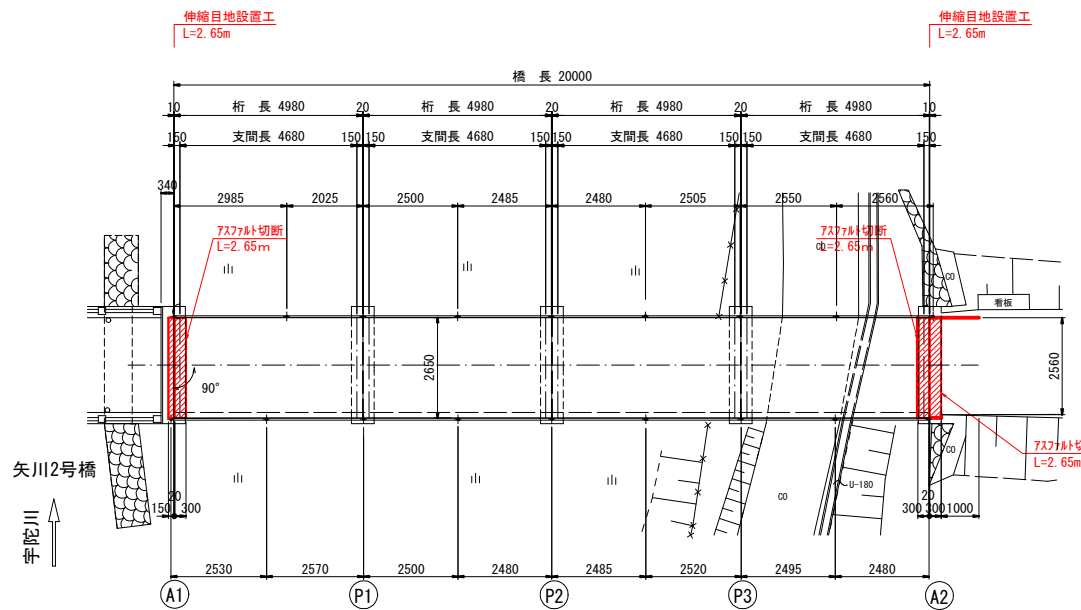
上・下流側 S=1:4



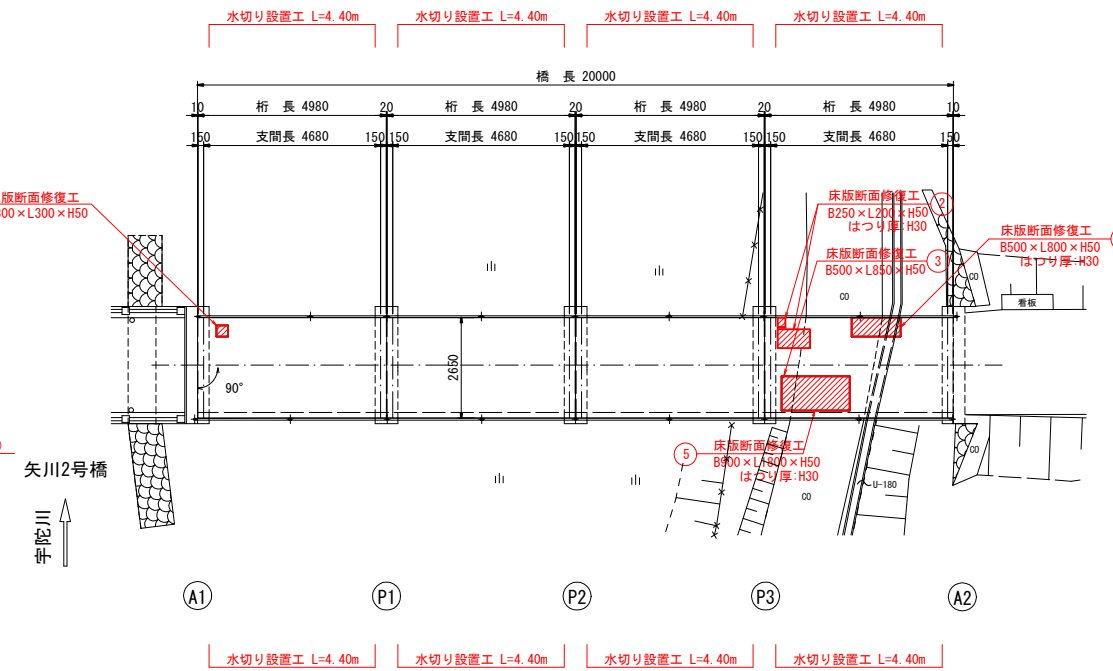
平面図

S=1:100

上面



下面



設計条件

橋格	- (9t)
上部工形式	4径間単純RC床版桁
橋長	20,000m
桁長	4 @ 4,980m
支間長	4 @ 4,680m
全幅員	2,650m
有効幅員	2,650m
斜角	$\theta=90^\circ$
床版	鉄筋コンクリート床版
舗装	アスファルト舗装
支承	-
橋台	重力式
橋脚	門型ラーメン式
基礎	直接基礎

※断面修復において、はつり厚の記載のないものについては断面修復工の厚さと同じとする。

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

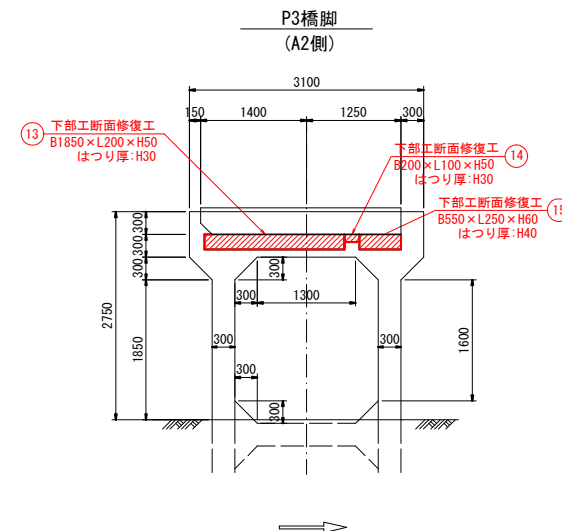
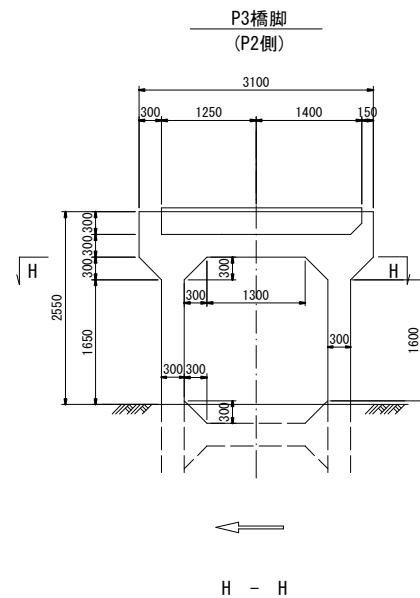
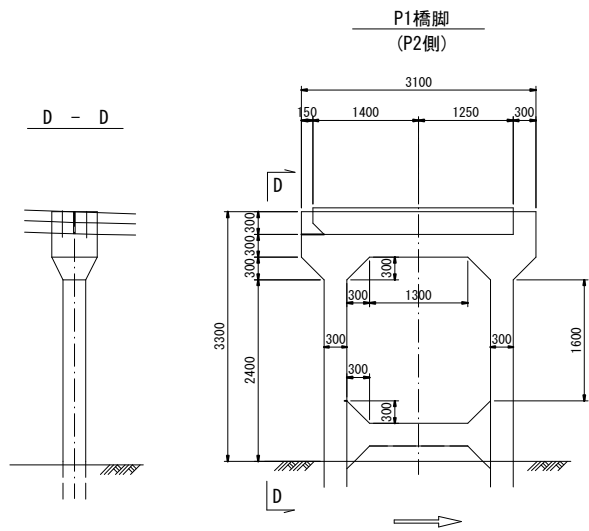
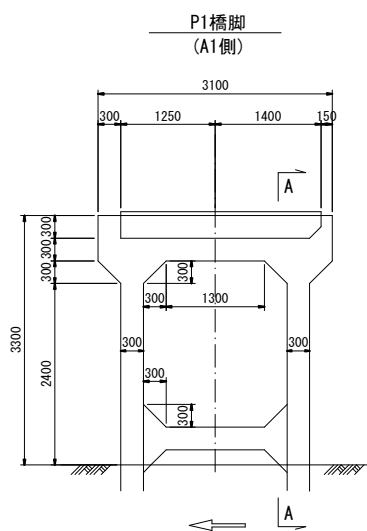
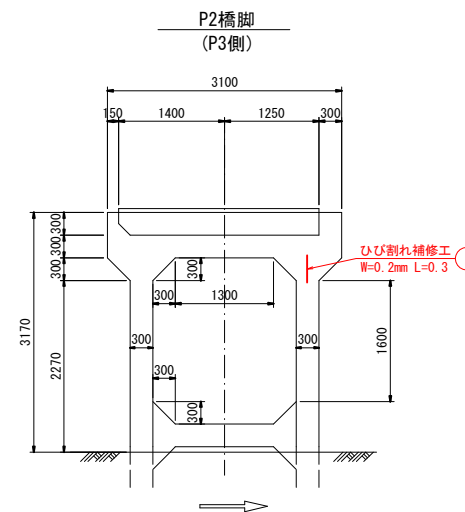
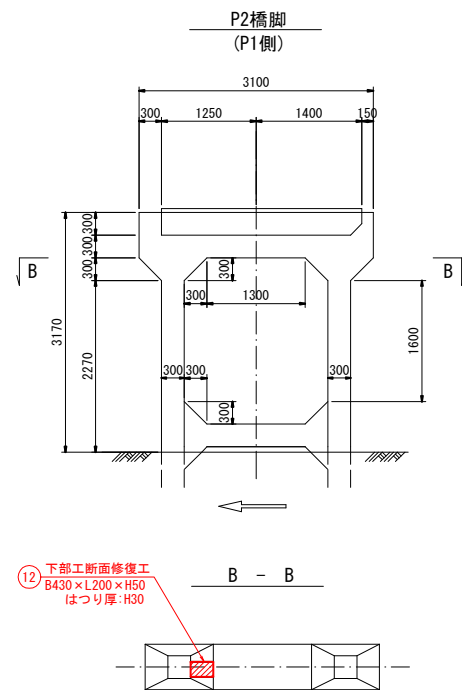
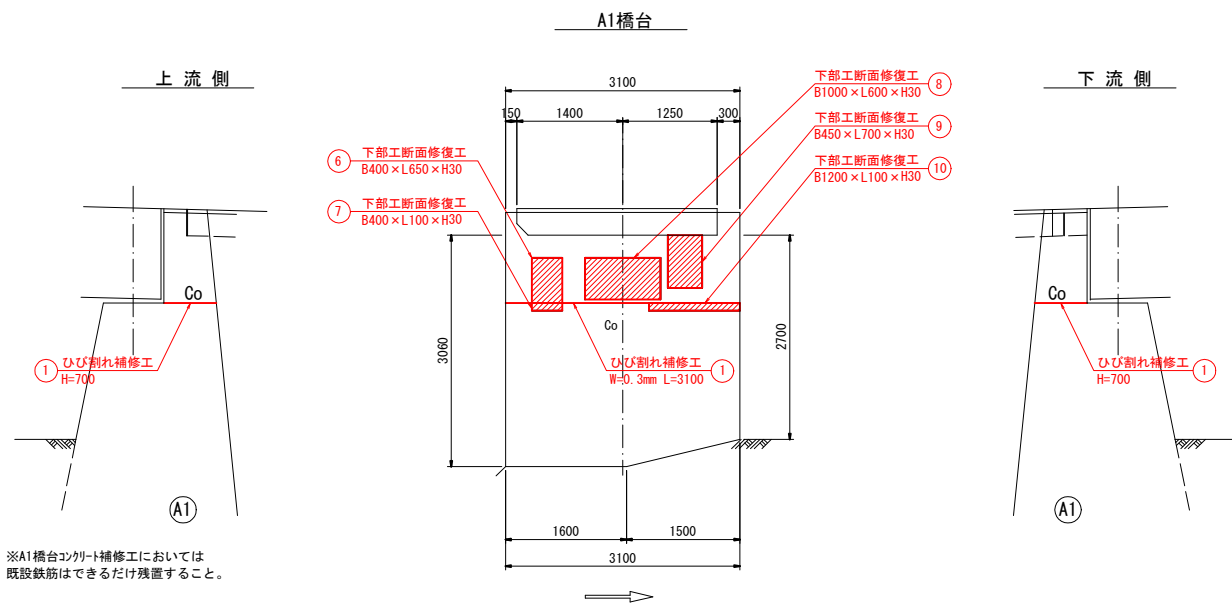
(矢川3号橋)

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工一般図		
尺度	図示	図面番号	4 業之内 1
事務所名	名張市		

修繕工詳細図(1)

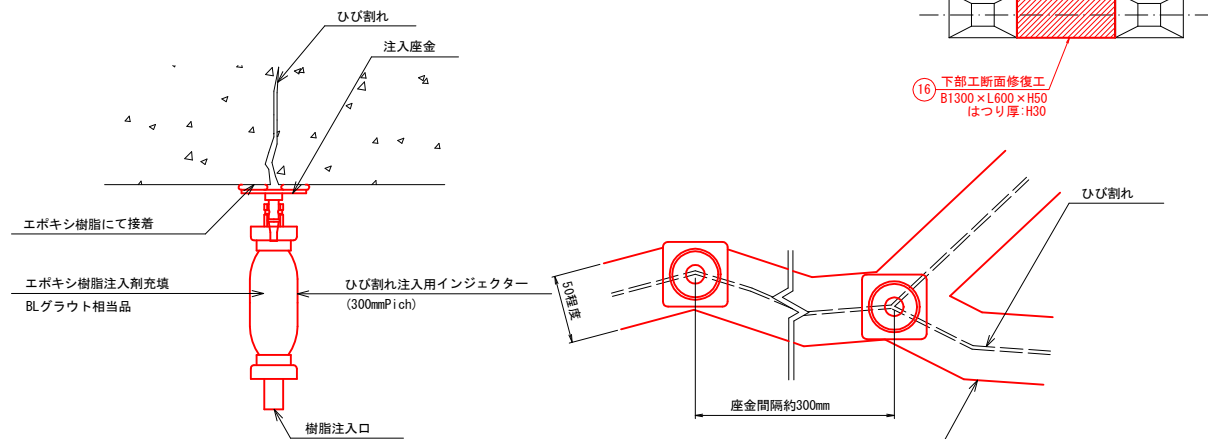
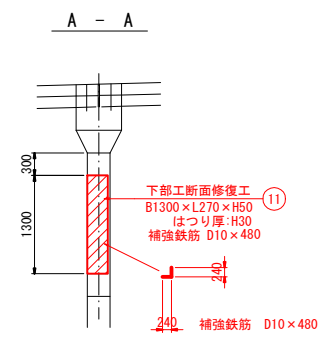
正面図

S=1:50



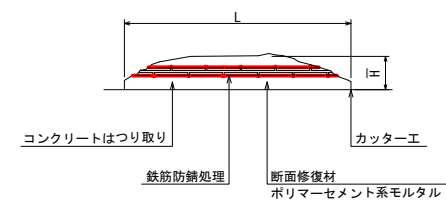
ひび割れ補修工詳細図

(ひび割れ注入工)



※ ひび割れの補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 注入に際しては必ず監督員の立ち合いを求めること。
 予定数量を大きくオーバーする場合には、監督員と協議の上注入を中止すること。

断面修復工詳細図



※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
 ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 なお、断面修復部の最小かぶり(純かぶり)は30mmを確保すること。
 ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー同等以上で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

(矢川3号橋)

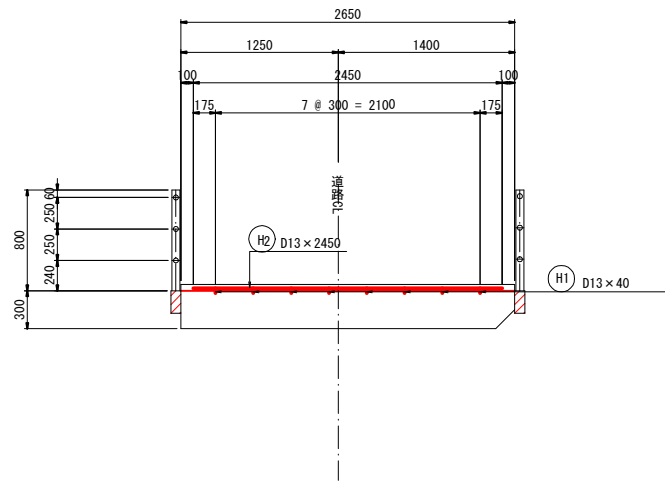
工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(1)		
尺度	図示	図面番号	4 業之内 2
事務所名	名張市		

修繕工詳細図(2)

伸縮目地設置工

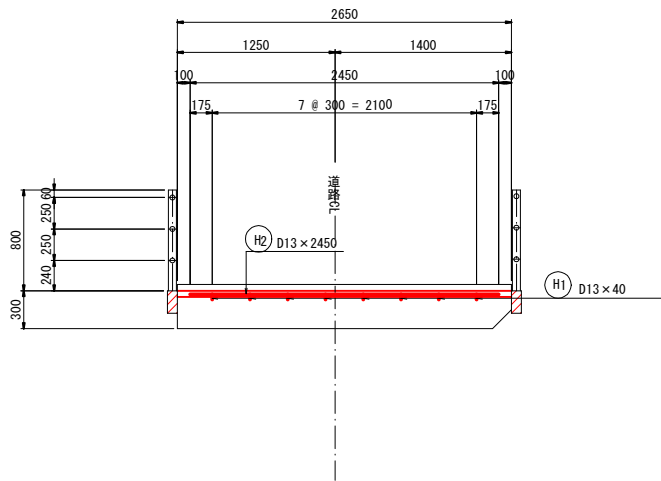
A1橋台断面図

S=1:30



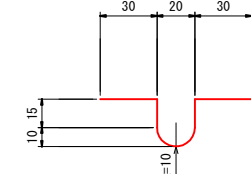
A2橋台断面図

S=1:30



伸縮目地詳細図

S=1:2

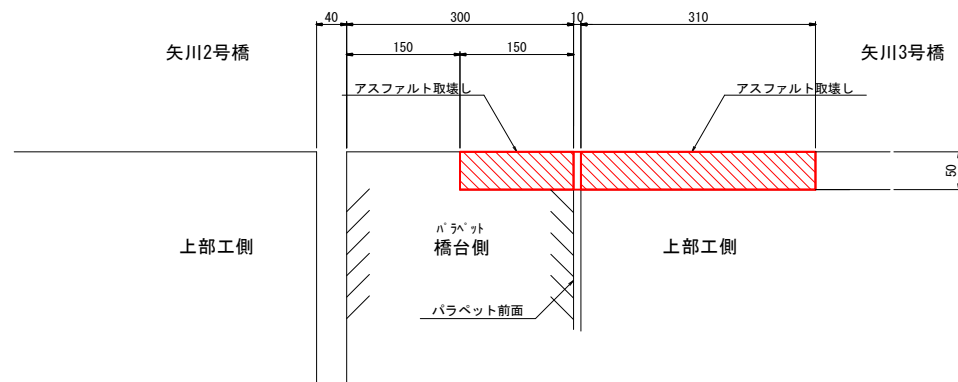


A1橋台 PL 121.4 x 0.8 x 2650 (SUS)

A2橋台 PL 121.4 x 0.8 x 2650 (SUS)

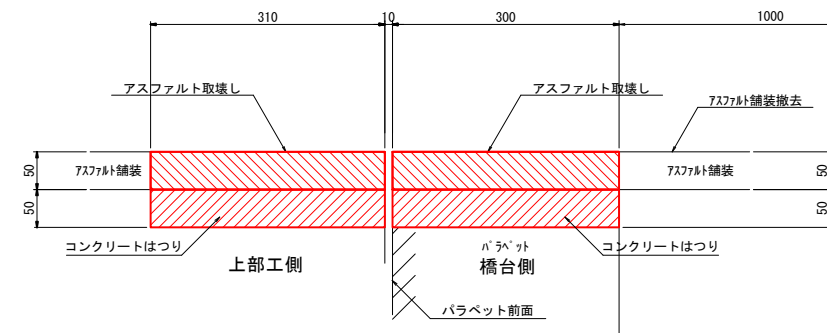
A1橋台撤去工

S=1:5



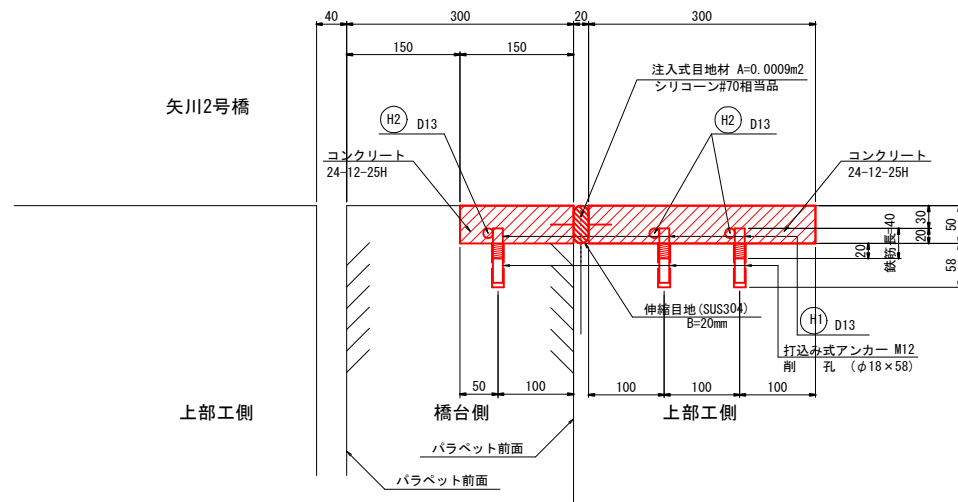
A2橋台撤去工

S=1:5



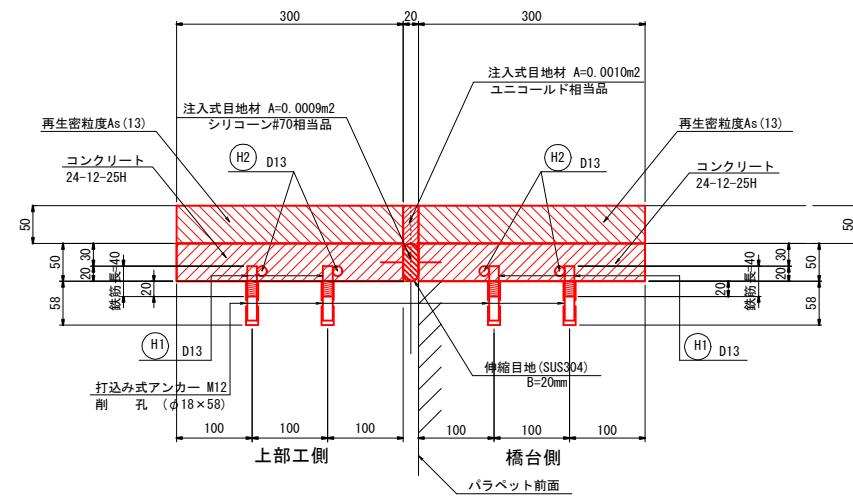
A1橋台設置工

S=1:5



A2橋台設置工

S=1:5



(矢川3号橋)

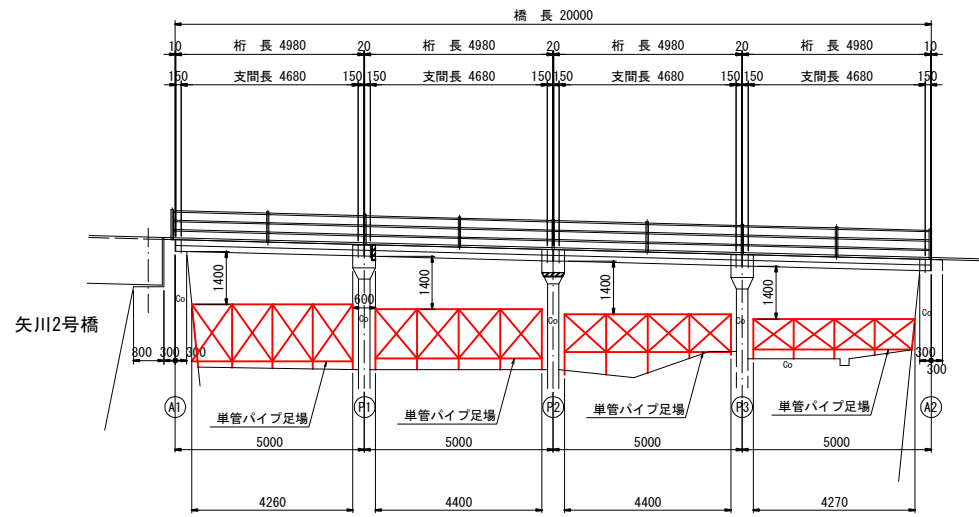
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	修繕工詳細図(2)		
尺度	図示	図面番号	4 表之内 3
事務所名	名張市		

仮設足場工 参考図

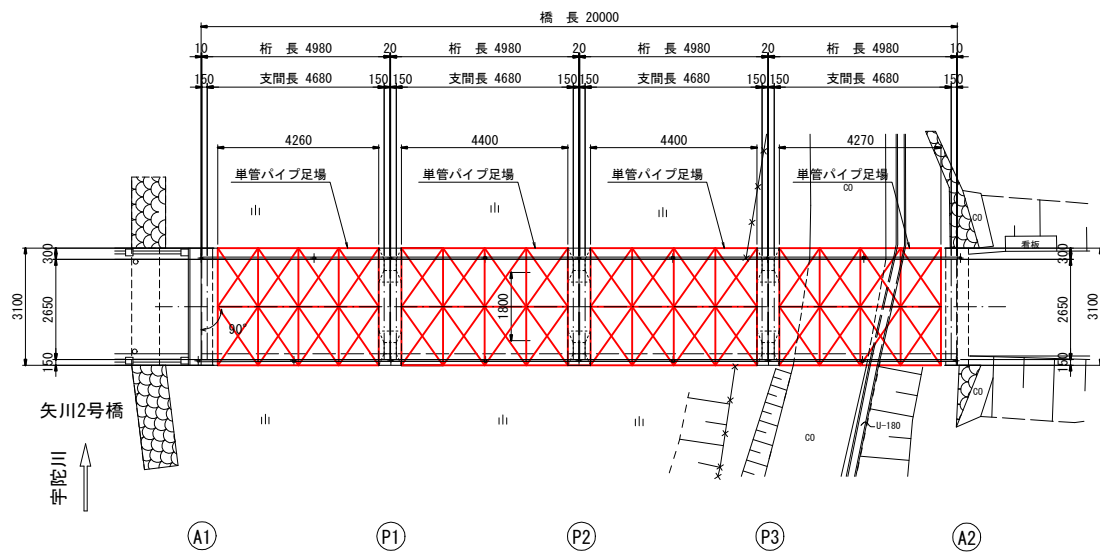
側面図

S=1:100



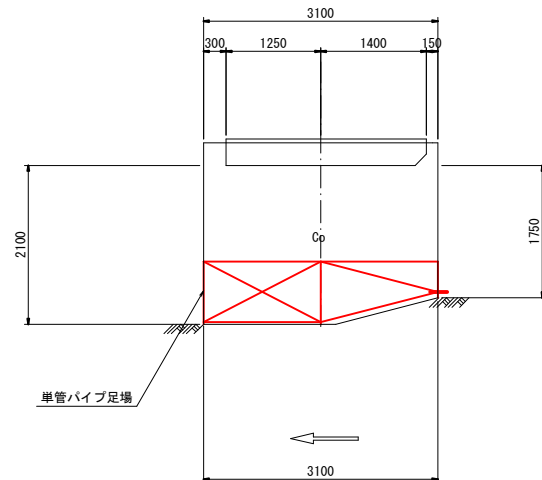
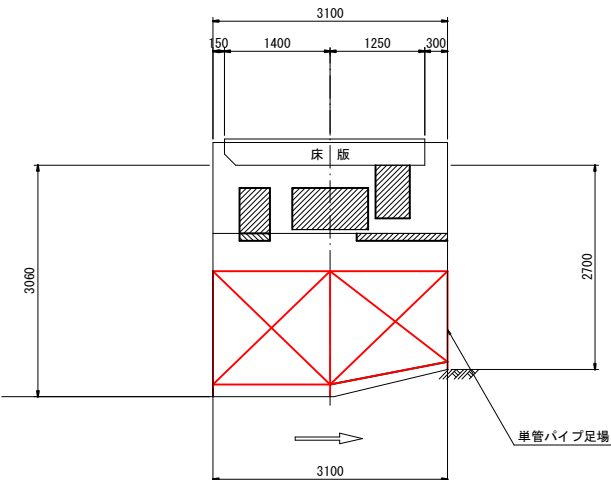
平面図

S=1:100



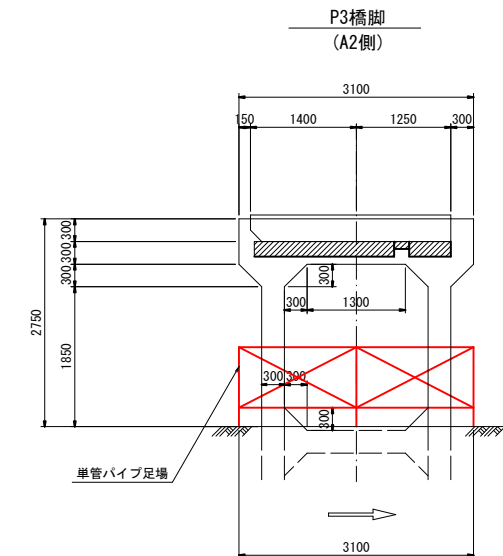
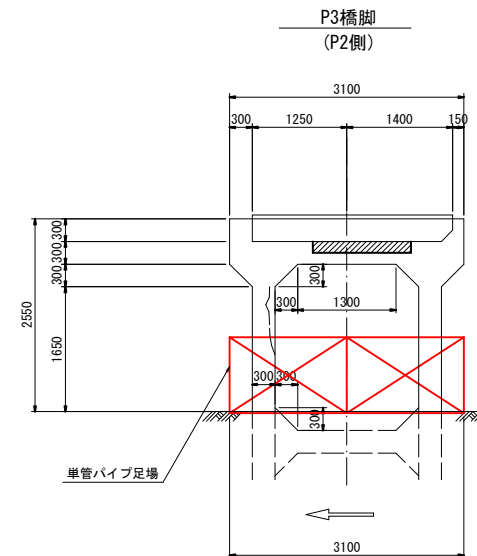
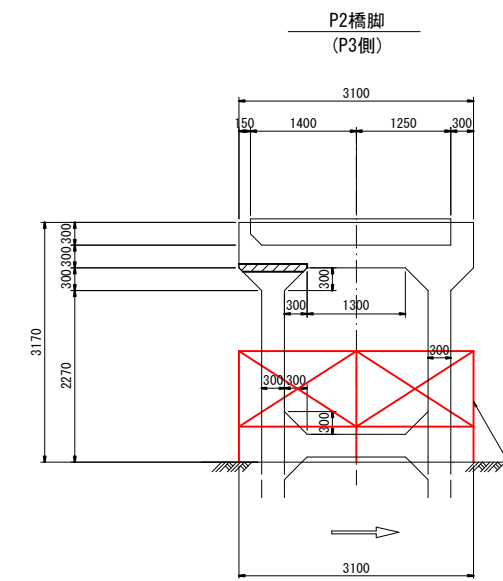
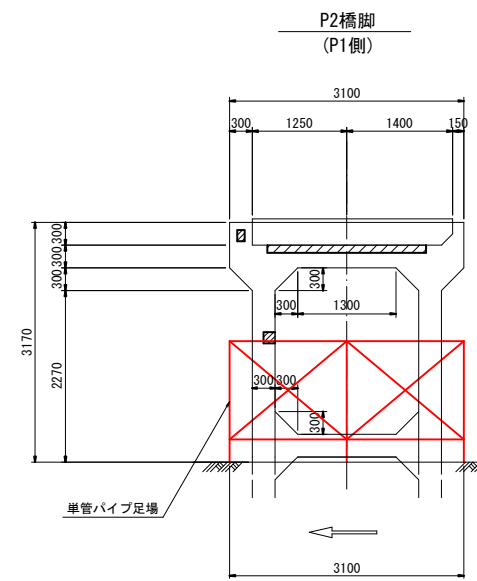
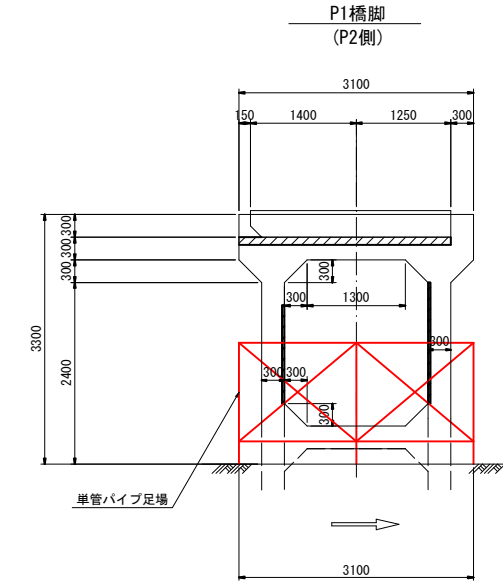
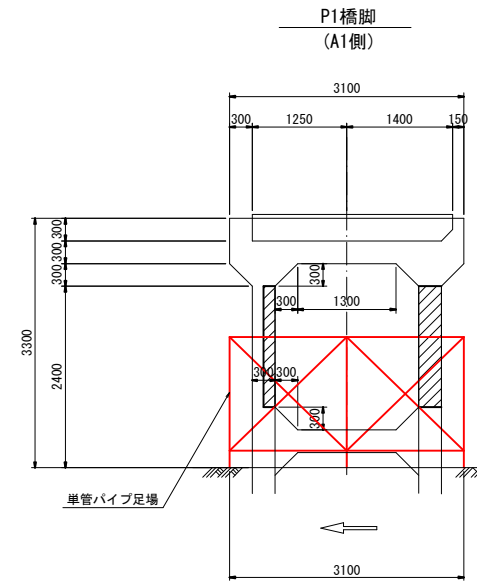
A1橋台

A2橋台



正面図

S=1:50



(矢川3号橋)

工事名	市道矢川2号線(矢川1号橋ほか) 橋梁補修工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
尺度	図示	図面番号	4 表之内 4
事務所名	名張市		